

2025-26年度 加藤会長テーマ -世のため、人のため-

第3214回例会 令和8年5月12日(火) 天気:晴 No. 31



会長 / 加藤 典男 幹事 / 本多 淳

クラブ会報委員 谷崎直樹 / 羽佐田芳和 / 神谷明

例会日:火曜日 12:30 例会場:西尾コンベンションホール

事務局:西尾市永楽町 3-45 西尾信用金庫中央支店内 204

TEL:0563-54-7770 FAX:0563-54-7050 URL:https://www.nishio-rotary.org

2025-2026 年度

RI テーマ

**よいことの
ために
手を取りあおう**

【本日のプログラム】

司 会 杉浦竜基例会運営委員長 斉 唱 「君が代」「四つのテスト」
 プログラム 会員卓話 平野 謙吾 君 社会保険労務士事務所リンク・サポート 代表
 「地区 青少年交換委員会について」
 クラブフォーラム
 ビジター 安城RC 野田敏男 君 食 事 炭焼いろり炎楽



【会長挨拶】



本日は、日本の防衛産業と武器輸出についてお話します。4月18日、日本はオーストラリアと「もがみ型」護衛艦11隻を売る契約を結びました。契約額は約1兆円です。最初の3隻は日本で建造し、残り8隻はオーストラリアで建造します。艦だけでなく、建造技術も含めて提供する契約です。

日本は戦後、「武器を売らない」という方針を続けてきましたが、2014年に「防衛装備移転三原則」が作られ、救難、輸送、警戒、監視、掃海に関わるもののみ輸出が認められました。そして今年4月、この原則が改定され、殺傷能力を持つ武器の輸出も可能になりました。これについて、海外メディアでは「戦後最大の防衛政策の転換」といわれました。

こうした動きに対し、アメリカやヨーロッパでは、日本は信頼できる民主主義国家で、日本製の防衛装備は、性能と価格のバランスが良く、精密で壊れにくい点でも期待されています。今回の輸出をきっかけに、日本の防衛産業は今後さらに発展していく可能性があり、大きな注目を集めています。

【委員会報告】

〈出席委員会〉 岩瀬 淳治委員長

本日の出席数 53名

欠席数 14名

出席率 79.10%



PHF+1

認証バッジ授与

〈スマイルボックス委員会〉 辻村 敏晃委員長

安城RC 野田敏男君 スマイルしていただきました。

加藤典男君 ビジター安城ロータリー野田様、ようこそ西尾ロータリーへ。時々お寄りください。みなさま、お久しぶりです。佐久島、花見、お疲れ様でした。廣瀬君、親睦さん、ありがとう。本日は平野君よろしくお願ひします。

本多 淳君 安城RC野田さん、ようこそ西尾RCへ。平野君、本日はよろしくお願ひします。4/14の佐久島、4/21の花見例会には多くの方に参加いただき、ありがとうございました。田中先生、受章おめでとうございました。

廣瀬成隆君 4月14日の佐久島海岸清掃は26名の参加者で行うことができました。当日は、2名の西尾市佐久島振興課の方、地域おこし協力隊の浅山宇宙さんが協力、支援してくださり、天候にも恵まれ、予定通り清掃活動を行うことができました。至らぬ点多々あったかと思いますが、何卒ご容赦ください。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

平野謙吾君 本日、卓話をさせていただきます。出向している地区青少年交換委員会の活動内容をお伝えします。よろしくお願い致します。

二宮英樹君 平野君、卓話楽しみにしています。がんばってください。2年がかりで建築、設備設置してきた新工場が先月竣工しました。

岩崎智一君 平野さん、卓話がんばってください。

石川竜司君 平野くん、卓話楽しみにしています。

角谷和行君 平野君！卓話がんばってください！

伊藤武行君 平野君、卓話楽しみにしています！

辻村敏晃君 平野さん、卓話よろしくお願ひします。先日の佐久島は急遽欠席となり、失礼いたしました。

傍嶋 茂君 平野さん、卓話楽しみにしています。

足立 俊君 平野くん、卓話楽しみです。期待しています。

岩佐明広君 平野さん！！卓話がんばってください。楽しみにしています。

三宅千鶴君 平野さん、卓話楽しみにしております。ひろみさん、令先生、先日はお世話になり、ありがとうございました。

永江義澄君 5月11日に78回目の誕生日を迎えました。これから残りの人生を楽しく暮らしたいと思ひます。

杉田明弘君 無事帰国。ボルネオ島3ヶ国に行つて来ましたが、そんな国、皆さん知らないよね！！

杉浦義浩君 4/12ブラジリアで開催された世界競歩チーム選手権に、丸尾知司君が日本代表として出場。国別対抗で金メダルを獲得しました。4/10に開催された中部日本実業団対抗大会にて、10km競歩で2年ぶりに優勝しました。

◆会員御誕生日5月◆



加藤 浩君 (8日)

坂田吉郎君 (8日)

永江義澄君 (11日)

辻村敏晃君 (13日)

石川哲朗君 (20日)

萩原竜治君 (21日)

三浦康彦君 (22日)

大河内芳信君 (22日)

吉崎和浩君 (22日)

小澤育史君 (23日)

〔卓話〕

平野 謙吾 君 社会保険労務士事務所リンク・サポート 代表
「地区 青少年交換委員会について」



我々が担当しているのは、高校生を対象にした交換留学プログラムです。留学といっても、ロータリーで行っているのは「交換」という形で、お互いの国の高校生を送り出し、受け入れる活動になります。異文化交流を通して友情を育み、将来的な世界平和につなげていこうという理念のもとで行われている事業です。このプログラムは1929年にフランスで始まり、現在では世界100カ国ほどが参加しています。コロナ禍で少し人数が減りましたが、年間9,000人ほどが世界中で交換留学をしている大きな事業です。

実際に参加した学生たちの話を聞くと、語学力だけでなく、自分で考えて行動する力が身についたり、世界中に友人ができた、本当に人生が変わる経験になっていると感じます。ホストファミリーとの交流が留学後も続き、「海外にもう一つの家族ができた」と話す子も多くいます。また、1年間現地の学校へ通うので、「もう一つの母校ができた」という声もあります。

プログラムは大きく3年間で成り立っています。1年目は候補生として準備をする期間、2年目が実際に海外へ行くアウトバウンド生、3年目が帰国後に経験を後輩へ伝えるローテックスという立場になります。毎月名古屋でオリエンテーションを行っており、外国語でのスピーチ練習や異文化理解など、かなり実践的な内容を学びます。帰国した先輩たちから直接アドバイスを受けられるのも大きな特徴です。

また、交換ですので、日本にも海外から学生が来ます。1年間の中で3~4家庭が協力しながらホストファミリーとして受け入れを行い、学校生活や日常生活をサポートしています。地区としても、座禅体験やスキー研修など、日本文化を知ってもらう活動を行っています。

一方で、スポンサークラブやホストファミリーの不足、費用面の負担など、継続していく上での難しさもあります。ただ、実際に留学を経験した子たちの成長を見ると、本当に価値のある活動だと感じています。

最後になりますが、5月23日に名古屋でカルチャーフェアを開催予定です。交換留学生たちが各国の文化紹介を行いますので、ぜひお越しいただけたらと思います。